

水産基盤整備事業

オホーツク管内の第4種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

このことを踏まえ、平成29年度は、「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」、「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。

◆ サロマ湖地区

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

◆ 元稲府地区

漁業活動の安全を確保するための防波堤の整備を推進します。

◆ 北海道第3種及び第4種漁港地区

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤の補修・調査を行います。



サロマ湖漁港(第2湖口工区)水深4.5m 航路浚渫

平成29年度 水産基盤整備事業の概要

事業区分	地 区 名	事 業 の 概 要
特 定 漁港漁場 整備事業	サロマ湖地区 (第4種サロマ湖漁港)	【第2湖口工区】 外郭施設：護岸(航路西) 水域施設：水深4.5m航路
	元稲府地区 (第4種元稲府漁港)	外郭施設：北防波堤
	北海道第3種及び 第4種漁港地区	【ウトロ漁港 ウトロ工区】 輸送施設：道路(補修) 【能取漁港 湖口工区】 外郭施設：防波堤(防氷)(補修) 【能取漁港 能取工区、卯原内工区】 係留施設：水深2.0m物揚場(補修) 【サロマ湖漁港 第1湖口工区】 外郭施設：防波堤(防氷)(補修)